

印刷

共通教育>B群 専門教育・副専攻科目>物質工学分野

授業科目名	現代物理学概論		担当教員 古閑 義之 高木 丈夫 堀邊 稔 鈴木 敏男
科目区分	B 理工工学系		
開放科目			
開講時期	3年 後期		
単位数	2	授業形態 講義	
研究室	教育地域科学部 2号館201 4号館2階 S208 工学部2号館S301 物工新館S206		
E-mail	koga@quantum.apphy.fukui-u.ac.jp takagi@qliquid.apphy.fukui-u.ac.jp horibe@quantum.apphy.fukui-u.ac.jp suzuki@quantum.apphy.fukui-u.ac.jp		
電話(内線)	(4717) (4711) 27-8780(4718)		

■基本キーワード

現代物理学

■個別キーワード

数学, 素粒子, 原子核, 宇宙, 物性

■授業の目標

授業を通して習得させようとする内容(目標)

理論物理学に関係するいろんな分野について, 最近の動向までを含めて概観すると共に, 相互の関連性について紹介することを目標とする。

■学科等の学習・教育目標との関連

■授業内容

理工工学科の数理・量子講座に属する教員数名が, 数学, 素粒子, 原子核, 宇宙物理, 物性理論など, それぞれの専門分野に関係した話題を講義する。具体的な内容は,

1. その分野の歴史
2. これまでの研究と知られている結果
3. 最近の動向
4. 未来への展望

など, 多岐にわたるが, 厳密な理論展開ではなく, その分野の全体像と各分野の相互の関連性を理解してもらうことを第一の目的とする。さらに, 数理・量子講座の各研究グループが行っている研究内容と過去に行った卒業研究のテーマ等も紹介し, 卒業研究配属へ向けての指針とする。

■授業方法

それぞれの教員が, 講義形式で4コマずつ担当する。最後の15回目の講義時に, 各受講生に対し, 異なるレポート課題を与える。

■学生の目標

理論物理に関係するいろんな分野の全体像をつかむと共に, 各分野の相互の関連性についての理解を深める。

■評価の方法

筆記試験は行わず, 最終講義時に与えるレポートの内容によって評価する。ただし, 出席率が3分の2に満たないものは, レポートの提出権を認めない。

■教科書・参考書等

教科書は使わない。参考書は必要に応じて講義時に示す。

■その他, 注意事項, オフィスアワー等

質問は随時歓迎する。

閉じる